

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 37 例会 2021.6.21 (#2311) 会場: シリウス

例会ホスト・紹介係 藤田君 会費係 内田君

受付係 地引君 保科君

司会者 濱田君 ソングリーダー 崎山君

最終例会

前回の報告

第 36 例会 2021.6.14 (#2310)

オンライン例会

卓話「感染症について」

元ロータリー財団奨学生 戸田祐太医師

紹介者 浅野会員

会長報告

1) 本日は、R在団奨学生として2019年にロンドンへ留学して、熱帯医学、国際保健の修士号を取得、帰国後、日赤医療センター: 感染症科/救急集中治療科 国立国際医療研究センター: 国際感染症センター などに勤務している戸田医師に、渦中の感染症について卓話をお願いしました。激務のなか宜しく御願います。

2) しばらくオンラインが続きましたが、来週は例会場でお会いしましょう。

幹事報告

1) 来週は、ニューオータニでのリアル例会です。みなさまにお会い出来るのを楽しみにしています。また、メニューが特別な物となりますので、欠席の方はお知らせ頂けると助かります。

2) 来週の例会終了後にヌサドゥアRCとの姉妹クラブ締結セレモニーをオンラインにて行います。例会場を繋いで行いますので、お残りいただけますと幸いです。

3) 各委員長は、業績報告書、活動計画書を 20 日迄にご提出ください。

ロータリーのロゴ入りポロシャツを、全会員に配布致します。
おサイズをお申し出下さい。



おサイズについては下記の表をご参考になさってください。

当商品	S	M	L	LL
身丈	67	71	75	77
身幅	48	51	54	57

ユニクロ	S	M	L	LL
身丈	65	68	71	74
身幅	47.5	50.5	53.5	57.5

次回予告

第1回例会 2021.7.5 (#2312)

会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 井関君

受付係 齊藤君 守屋君

会費係 中村君

司会者 荒川君

ソングリーダー 鈴木君

卓話「三役挨拶」

莊村明彦 会長

浅野泰弘 副会長

福田仁司 幹事

6月28日は休会です。

イニシエーションスピーチ

住吉美紀氏(秋山会員推薦) 吉沢京子氏(河合会員紹介)



フリーアナウンサーの住吉美紀と申します。昨年末、卓話に出席させていただいたのが最初のご縁だったのですが、ぜひ女性の入会をということでお声掛けいただきました。

私は日本で生まれ、父が商社に勤務していた関係で、幼稚園卒園後すぐにアメリカ・シアトルの小学校に通うことになりました。英語を全く話せず、最初は涙ながらでしたが、すぐに元気よく英語で遊んでいました。4年半の間、一度も帰国せずアメリカで育ち、小学5年生の途中で帰国した頃には、英語の方が楽という感じになっていました。その後、大阪と神戸で楽しく女子高生生活を送っていたのですが、高校1年生のときに父が再び転勤となり、高校3年間はカナダのバンクーバーで過ごしました。大学は東京の国際基督教大学(ICU)に進みました。

卒業後すぐにNHKに入局し、15年間勤務しました。NHKのアナウンサーは必ず地方勤務があり、私は最初、福島放送局に赴任しました。その後、仙台放送局に異動し、東北では計5年間勤務したので、東北は自分にとって第2のふるさとです。NHKでは取材で各地を訪れ、1日に400kmも運転する日もありました。少しずついろいろな仕事をさせていただき、2001年に東京へ戻ってからは音楽番組やニュース番組も担当しました。思い出深いのは海外取材を数多くしていた頃です。数年の間に世界遺産の取材で17カ国を訪れ、現地から生中継をしたこともありました。皆さんもご存じの番組では、「迷宮美術館」に約7年、「プロフェッショナル 仕事の流儀」に4年半出演しました。

その後、フリーランスに転向し、TOKYO FMで月曜から金曜の午前9時から11時まで、「Blue Ocean(ブルーオーシャン)」という番組を担当することになりました。実は私が担当してから今週で10年目を迎え、今まで担当した中で最も長い番組となりますので、私にとっては渋谷よりも麹町エリアがホームグラウンドのようになっています。ですから、こうして東京麹町ロータリークラブの皆さんとのご縁を頂いたのは非常にうれしいことです。

アナウンサーは発注されて仕事をすることが多いのですが、自分も年を重ね、自主的に社会に貢献し、自分だからできることを発信していきたいと思うようになりました。特にコロナ禍で時間の貴重さを感じましたので、このタイミングでご縁を頂いたことは運命だと思っています。まだまだ不慣れですのでいろいろと教えていただきつつ、皆さんとどのようなことができるのか、楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



伝統ある東京麹町ロータリークラブに入会させていただき、ありがとうございます。昨年まで3年間は東京恵比寿ロータリークラブにお世話になっていました。しかし、仕事の関係で難しくなり、コロナ禍もあって辞めようかと思っていたのですが、夫や河合先生に相談したところ麹町を薦められました。

男性ばかりのクラブで戸惑いましたが、ドラマ「柔道一直線」では男性スタッフばかりでしたし、男性の中でずっと仕事をしてきたものですから、何とかやらせていただけたらと思います、入会する運びとなりました。

私の生まれは板橋区です。体が弱く、祖母が何か習わせようというので6歳から日本舞踊を始めました。体で表現することがとても好きだったのですが、中学生ぐらいになると今度はしゃべる表現をもっとしたいと思い、親に内緒で「劇団ひまわり」に応募しました。それがきっかけで、最初は教育雑誌の表紙を務め、CMやドラマにも出演し、「柔道一直線」で皆さんに知っていただけるようになりました。

映画や歌などいろいろな仕事をする中で素晴らしい先輩方と出会い、心に残る作品がたくさんできました。特に、「父ちゃんのポーが聞こえる」という実話を基にした映画では、ハンチントン舞蹈病という病に侵された少女役を務め、文部大臣新人賞とエランドール賞新人賞を頂きました。気が付けば、仕事を始めてから50年がたちます。関西にいた10年ぐらいの間は、子どもが小さいときに離婚したこともあって、司会業や旅番組などあらゆる仕事をしてきました。それが今になって良い糧となっています。縁あって3年前に再婚し、ちょうど50周年ということもあって、今までのキャリアを生かした社会貢献ができないかという思いが芽生えました。ですので、このクラブで私にできることをお手伝いさせていただいたら非常に幸せです。

私は副職として日本舞踊の師範もしています。日本文化が大好きで、2年前から能も始めました。能は日本舞踊と動きが全く異なりますし、やればやるほど深みにはまってしまっていて楽しいのです。5月16日には国立能楽堂で「羽衣」を舞囃子で舞わせていただきます。お時間がありましたらぜひお越しください。

再婚したことによって世界がこうして広まったことはとてもうれしいです。これからは人生100年時代だといわれています。今後も健康で、自分の好きなこと、楽しいことをしたいと思っています。恵比寿ではあまり活動していなかったのですが、今日初めて入ったような気持ちでスタートラインに立っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。